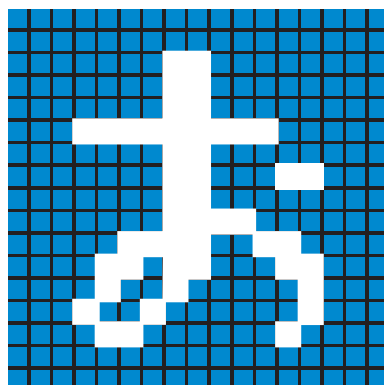
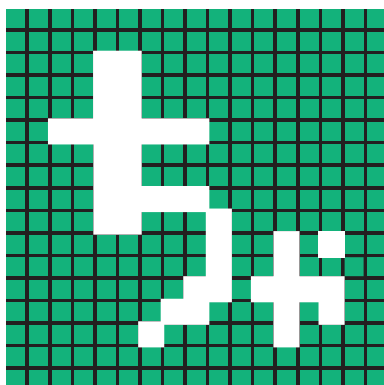
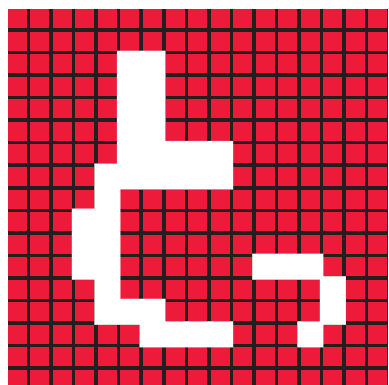




発行所/毎日新聞東京本社
〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 TEL 03-3212-0321

関東版

テレビがもっと面白くなるエンターテインメントニュース

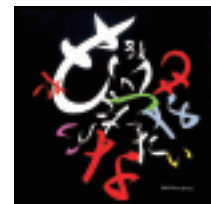


マイニチ とっちゃお 「マイニチ とっちゃお」編集室 TEL. 03-3212-0035(平日AM10:00~PM5:00)

TV 2WEEKS GUIDE

1.6 SUN 1.19 SAT

毎日新聞は
MOTTAINAIキャンペーンを
推進しています



<http://premo.mainichi.co.jp>

対談

「ケンタロウ×栗原心平 白金台三丁目食堂」
栗原はるみ

■クロースアップ■
『新選組血風録』『燃えよ剣』の
あの土方歳三が、映画への熱き思いを語る
栗塚 旭

★WOWOW特製 テレビ枕
★KURIYA(クリヤ)フットクリーム

プレゼント



栗塚 旭

栗塚旭がブームだ。故・司馬遼太郎をして「あなたこそが土方歳三や」と言わしめた「新選組血風録」をはじめ「燃えよ剣」「天を斬る」などの主演ドラマが時代劇専門チャンネルで連続放送され、本人のトークイベントも楽しめるツアーは即完売の人気ぶり。そしていよいよフィナーレを飾る「用心棒シリーズ 俺は用心棒」全26話も1月から放送される。にわかに注目されることへの戸惑いや映画への熱き思いを70歳になったご本人に聞いた。

(文・紀平重成／写真・小笠原綾花)

はたして参加者が集まるかどうか、栗塚さん自身も心配していた視聴者参加型の特別企画ツアー「時代劇のふるさとを訪ねて」には定員の70人を上回る申し込みが殺到。12月初めのツアー当日は好天にも恵まれ、当時からファンやCS放送で見て新たにファンになった若い世代まで、参加者の9割を占める女性ファンは大満足。京都に住む栗塚さんが大覚寺の大沢池へも同行する優しい気遣いをする、トークイベントでお別れと思っていたファンは感激し、「栗さま」「旭さま」の声も飛び交った。



「今の時代に欠けているものが描かれていて
引きつけられるのかもしれないね」

「びっくりしましたよ。騒がれてなんぼの役者稼業とはいえ、もう70歳。ファンの方には感謝しなくてはいけないと思います」
にわかにブームが来たようにも見えるが、栗塚さんによると1本の糸でつながるように仕事が舞い込み、それがまた次の仕事へと続いていったという。

「放送が終わった後も各地でフィルムによる上映会は続けられていたんです。それならと映画会社がビデオ販売に漕ぎ付け、フィルムの貸し出しを終了した。それでもう(僕の役目は)一段落したと思っていたところ、高林陽一監督が『愛なくして』で使ってくれて、その次には三谷幸喜さんがNHKの大河ドラマ『新選組!』で土方歳三の兄の役を用意してくれた。さらに野村恵一監督が藤村志保さんの相手役にと『二人日和』『小津の秋』と2本続けて声をかけてくれたんです。そして今回の時代劇専門チャンネルさんのお話。安心してあの世に行けるかと思っていたのに(笑)」

「面はゆい」と思いつつ、ブームの原因を自分なりに考えたという。そして久しぶりに黒澤明監督の「姿三四郎」を見て「新選組血風録」の原点だと思った。

「映画はいつも先達の後を追いかけています。そして過去の積み重ねの上に成り立っている。藤村さんから『勝さんや雷蔵さんがのぞいているような気がする』とうかがった時そう思ったんです。評価されたとすれば伝統のお陰。自分ひとりの力とは思いません」
それでも栗塚さんが出てくると画面は引き締まりニヒルな男の色香が漂う。

「1957年に毛利菊枝さんが主宰する劇団くるみ座に入り鍛えられました。彼女は『人の背中を見ながら勉強しなさい、演じるだけが勉強ではない』と言い、よく歌舞伎や狂言にも連れて行ってくれました。仮に大きく見るとすればそのお陰かもしれません」

共演者にも魅力的な俳優がそろった。各作品で共演した左右田一平、島田順司を含め3人にはアウトローの匂いが漂う。とりわけ「用心棒」シリーズはそれが濃厚だ。

「時代の雰囲気もありました。また社会との関わり方をよく論じ合ったりしました。出演者のさまざまな思いが画面にも出ているのかもしれない。映画会社の方針で『用心棒』シリーズから路線が変わった時は戸惑いました。本当はずっとやりたかった。今の時代に欠けているものが描かれていて引きつけられるのかもしれないね」

下積みを経て65年に「新選組血風録」で人気に火がついた。同じスタッフ、キャストで撮りながらテレビは人気番組、映画館はガラガラという交代の時代。自分は大好きな映画が衰退していくのに手を貸していると悩んだ。その映画を今も週に3、4本は見る。「出演しても100%気に入ったものはありません。もったいいものにはしたいと思うから見るんです」。



●栗塚 旭 (くりづか・あさひ)

1937年北海道生まれ。70歳。57年に毛利菊枝が主宰する劇団くるみ座に入団。下積みが続いたが、65年に司馬遼太郎原作のドラマ「新選組血風録」で土方歳三役を演じ、人気に火がついた。以後「われら九人の戦鬼」「俺は用心棒」「燃えよ剣」など数々の時代劇に出演。2004年には香取慎吾主演NHK大河ドラマ「新選組!」で土方歳三の兄を演じる一方、映画では05年に女優・藤村志保と「二人日和」で共演し、ドイツ・フランクフルト【第5回ニッポン・コネクション】グランプリを受賞するなど映画、テレビで活躍中。京都市在住。昨年、芸能生活50周年を迎えた。

1月7日(月)スタート 前11:00～、後11:00～

「用心棒シリーズ 俺は用心棒」

〈時代劇専門チャンネル〉

ケーブルテレビ/スカイパーフェクTV!(Ch.718) 他

(1969年・TV・全26話・モノクロ)

監督:河野寿一/佐々木康/松尾正武

脚本:結束信二

出演:栗塚旭/島田順司/左右田一平 ほか

★時代劇専門チャンネル ホームページでは、栗塚旭さんの壁紙・スクリーンセーバーがダウンロードできます。「用心棒シリーズ 俺は用心棒」の放送時間をお知らせしてくれる機能も。詳しくは <http://www.jidaigeki.com> へ

